

第六十三回
帝國議會
貴族院
產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法

案

產業組合法中改正法律案

產業組合中央金庫法中改正法律案

委員氏名

委員長 子爵前田 利定君
副委員長 水野鍊太郎君
公爵一條 實孝君

侯爵大久保利武君

子爵西尾 忠方君

男爵赤松 範一君

男爵足立 豐君

男爵伊江 朝助君

西野 元君

馬越 恭平君

各務 鎌吉君

田村 新吉君

菅澤 重雄君

吉田羊治郎君

松本勝太郎君

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ是ヨ

リ特別委員會ヲ開會イタシマス、此三法案
ハ本議場ニ於キマシテ大藏大臣カラ定メシ
御説明ガアッタウト存ジマス、併シ當時ハ
豫算委員會其他特別委員會ガ他ニモ開カレ
テ居リマシタカラ、此處ニ御出デノ諸君ノ
中ニモ、御聽キ漏ラシノ方モアラウト思ヒ
マス、且又此委員會ノ速記録ニ、一應三法案
ノ立案ノ趣旨ヲ記録シテ置クト云フコトモ
必要デアラウト思ヒマスカラ、稍、重複ス
ルヤウナ嫌ガアリマスケレドモ、政府委員
ヨリ一應三案ノ説明ヲ聽イテ置キタイト思
ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ……

○政府委員(伯爵有馬頼寧君) 產業組合ハ

中小産者、殊ニ農村ニ於ケル金融機關トシ
テ極メテ重要ナル地位ヲ占メ、其貸出金ハ
十億圓ヲ超ユルノ狀況デアリマス、近時經
濟界ノ異常ナル不況ノ結果、其貸出金中ニ
ハ相當巨額ノ固定貸付ヲ生ジ、今ヤ其額ハ
三億圓ヲ超ユルモノト推測セラルルノデア
リマス、從テ是ガ爲ニ金融ノ圓滑ヲ缺キ、
中小産者、殊ニ農村ノ産業及ビ經濟上被ム

ル打撃ハ著シキモノガアルノデアリマス、

依テ其固定セル債權ヲ資金化シテ、金融ノ
疏通ヲ圖ルコトハ刻下ノ急務ト認メマスノ
デ、茲ニ産業組合ノ中樞金融機關タル産業
組合中央金庫ヲシテ、信用組合聯合會及ビ
信用組合ニ對シ、主務大臣ノ定ムル方法ニ
依リ特別ノ融通ヲ爲サシメ、以テ金融ノ梗
塞ヲ緩和セムトスルノデアリマス、而シテ
特別融通ヲ爲スベキ金額ハ、前述固定債權
額ノ約三分ノ一ニ相當スル一億圓以內トシ、
之ニ要スル資金ハ之ヲ大藏省預金部資金中
ヨリ融通スル豫定デアリマス、尙ホ特別融
通ハ、現下ノ金融梗塞ヲ緩和スル目的ニ出
ヅルモノデアリマスカラ、産業組合中央金
庫ガ特別融通ヲ爲スハ、本法施行ノ日ヨリ
三年以內ト致シタノデアリマス、次ニ本特
別融通ハ、之ニ依テ組合及ビ聯合會ノ金融ノ
疏通ヲ圖リ、延イテ其更生ヲ期セムトスルモ
ノデアリマス、勿論是ガ融通ヲ受ケタル組合
又ハ聯合會ニ於テハ、將來是ガ償還ヲ爲シ得
ルニ至ルコトト信ゼラルルノデアリマス、
ケレドモ何分現下ノ如キ經濟事情ノ激變セ
ル時ニ於テ、組合及ビ聯合會ノ前途ニ危惧
ノ念ヲ懷キ、融通ヲ躊躇スルコトナキヲ保

シ難イノデアリマス、是ガ爲メ産業組合中

央金庫ガ特別融通ヲ爲スニ依テ損失ヲ受
ケタルトキハ、之ニ對シテ三千万圓ヲ限リ
政府ニ於テ其損失ヲ補償スルノ契約ヲ結
ビ、安ジテ融通ヲ爲サシメ、以テ金融疏通ノ
實ヲ舉ゲシメタイト思フノデアリマス、又
其損失ノ決定ヲシテ公正ナラシムルガ爲
ニ、勅令ヲ以テ産業組合中央金庫特別融通
損失審査會ヲ設クルコトトシ、且ツ産業組合
中央金庫ニ對スル補償ハ公債ノ交付ヲ以テ
之ヲナシ得ルモノト致シマシタ、以上ハ本
法案ノ要旨デアリマス、何卒御審議ノ上速
ニ可決セラレムコトヲ希望イタシマス、次ニ
産業組合法中改正法律案ノ提出理由ヲ説明
イタシマス、我國ノ産業組合ハ最近著シク
普及發達シ、特ニ農村ニ於キマシテハ其産
業及ビ經濟ノ殆ド唯一ノ機關タルニ至リタ
ノデアリマス、現下ノ經濟界殊ニ農村ノ異
常ナル不況ニ鑑ミマスルニ、此際其制度ノ
改正ヲ加ヘ以テ一層産業組合ノ活動ヲ促進
シ、普ク之ヲ利用セシメマスルコトハ刻下
ノ不況對策トシテ誠ニ其必要ニシテ、而モ
急施ヲ要スル所デアリマス、依テ茲ニ産業
組合法中改正法律案ヲ提出シタル次第デア

リマス、今回ノ改正事項中其主要ナルモノヲ述ベマスレバ、第一ニ産業組合及産業組合聯合會ノ信用ヲ擴大シ資金ノ融通ヲ圓滑ナラシムルガ爲メ、其責任限度ヲ擴張シ、個々ノ單位組合ニアリテハ大體市街地ノ信用組合及ビ經濟用品ノミヲ扱フ購買組合ヲ除クノ外、保證責任又ハ無限責任トナシ、聯合會ニアリテハ總テ保證責任トナスコトト致シマシタ、第二ノ農村ニ於ケル産業組合ノ活動ヲ便ナラシメ其利用ヲ普カラシムルト共ニ、眞ニ中小産者ノ相互扶助ノ實ヲ舉ゲシムルガ爲メ、現ニ農村ニ發達シテ居ル農村實行組合ヲ簡易ナル法人トシテ之ヲ養蠶實行組合ト共ニ、産業組合ノ組合員タラシムルノ途ヲ開クコトト致シマシタ、第三ニ産業組合及産業組合聯合會ノ監督ヲ徹底セシムル爲メ、區域ガ道府縣ヲ超ユル組合及ビ聯合會ノ設立其他監督ハ主務大臣之ヲナスモノト致シマシタ、第四ニ産業組合及産業組合聯合會ノ事業遂行上便ヲ圖リ且ツ監督ノ周到ヲ期スル爲メ、事業年度ヲ六箇月ト爲シ得ルコトト致シマシタ、第五ニ産業組合及ビ産業組合聯合會ノ事業ノ統制ヲ期スル爲メ、定款ニ違反シタル組織者ニ對シ過怠金ヲ課シ得ルモノト致シマシタ、第六ニ産業組合及ビ産業組合聯合會ハ	存立時期満了ニ依リテ解散シタル場合ニ於テ組織者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ便宜繼續ヲ爲シ得ルコトト致シマシタ、第七ニ購買組合聯合會ハ信用組合聯合會及利用組合聯合會ト同ジク各種ノ組合又ハ聯合會ヲ以テ之ヲ組織スルヲ適當ト致シマスルノデ、同種ノ事業ヲ行フ組合又ハ聯合會ノミヲ以テ組織スベキモノトナセル現行法ノ規定ヲ改メ、各種ノ事業ヲ爲ス組合又ハ聯合會ヲ以テ之ヲ組織シ得ルモノト致シマシタ、第八ニ信用組合聯合會ノ機能ヲ十分ナラシメ、其組織者ニ對スル資金融通ノ圓滑ヲ徹底セシムルガ爲メ、道府縣區域ノ信用組合聯合會ヲシテ手形ノ割引ヲナシ得ルモノト致シマシタ、第九ニ産業組合聯合會ノ資力ヲ増大セシムル爲メ、聯合會ノ組織者ノ有スベキ出資口數ノ最高限度ハ、原則トシテ百口マデ、特別ノ場合ハ五百口マデニ増加イタシマシタ、第十ニ特殊事業ヲナス産業組合聯合會ノ設立ヲ容易ナラシムル爲メ、聯合會ハ二ツ以上ノ組合又ハ聯合會ヲ以テ之ヲ組織シ得ルコトト致シタノデアリマス、第十一ニ尙ホ本改正法律施行前ニ設立シタル有限責任ノ組合ニシテ本改正法律案ニ依リテ有限責任タリ得ナイコトトナリタルモノ及ビ有限責任ノ聯合會ヲ本法施行	後一定期間ヲ限り存續シ得ルコトトシ、此期間内ニ其組織ヲ變更シテ保證責任又ハ無限責任トナシシムル積リデアリマス、政府ニ於テハ此期間ヲ當初三年トシテ提案シタノデアリマシタガ、衆議院ニ於テ之ヲ五年ト修正セラレタノデアリマシテ、政府ハ之ニ同意イタシタ次第デアリマス、以上ガ今回改正ノ要點デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ可決セラレムコトヲ望ミマス、次ニ産業組合中央金庫法中改正法律案ノ提案理由ヲ説明イタシマス、今回ノ産業組合法ノ改正ニ伴ヒマシテ、産業組合中央金庫法中ニ改正ヲ加フル必要ガアリマスルト共ニ、産業組合ノ中樞機關タル産業組合中央金庫ヲシテ其機能ヲ十分ナラシメマスコトハ刻下經濟界ノ不況對策ト致シマシテ、農村ノ金融ヲ圓滑ナラシメマス上ニ於テ極メテ緊要ナルコトデアリマス、依テ茲ニ産業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、今回ノ改正事項中其主	要ナルモノヲ述ベマスレバ、第一ニ産業組合中央金庫ノ資力増大ニ資スル爲メ、其組織者ノ有スベキ資出口數ノ最高限度ヲ産業組合ハ五百口マデ、聯合會ハ千口マデニ増加イタシマシタ、第二ニ餘裕金ノ運用ヲ便ナラシメル爲メ、其一方法トシテ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ買入レ得ルコトト致シマシタ、第三ニ事業ノ圓滑ナル遂行ヲ圖リ且ツ監督ノ周到ヲ期スルガ爲メ、事業年度ヲ六箇月ト致シマシタ、其他産業組合法ノ改正ニ伴ヒ必要ナル準用條文ノ整理ヲ致シマシタ、何卒御審議ノ上速ニ可決セラレンコトヲ望ミマス ○委員長(子爵前田利定君) 此際三案ヲ一括イタシマス、就キマシテハ矢張り政府委員ノ説明ノ順序ニ從ヒマシテ、先以テ産業組合中央金庫特別融通及ビ損失補償法案ニ付テ御質疑ガゴザイマスレバ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス……皆様ノ御質疑ノ御考慮ノ前ニ私カラ伺ヒマス、此固定貸付ニナッテ居ル所ノ債權ノ資金貸付金融ニ、信用組合聯合會トカ、或ハ信用組合ニ中央金庫カラ特別ニ融通ヲ爲サシムルノデアリマスガ、其特別融通ヲスルコトハ中央金庫ニ全ク委セル譯デアリマスカ、矢張り一應主務大臣ノ許可ヲ受ケテカラヤルノデスカ、ソレトモ中央金庫ガ獨自デ特別融通ヲヤルノデアリマスカ、其邊ヲ伺ヒマス ○政府委員(伯爵有馬頼寧君) 貸出ヲスル場合ニハ特別ニ農林省ノ許可ヲ得ルト云フ風ナ組織ニハナッテ居リマセヌ、御承知ノ如ク中央金庫ハ農林省ノ監督ノ下ニ在リマシ
---	---	--	--

テ、監理官モ居リマスノデ、平素農林省ノ方デ中央金庫ノ業務ニ付テハ監督ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、特別ニ此爲ニドウト云フコトハナイノデアリマス、唯ダ損失ノ補償ト云フヤウナ場合ニナリマスルト、先程申シマシヤウナソレニ付テノ特別ナ審査會ガアリマシテ、其審査會ニカケマセヌケレバ損失補償ヲスルト云フコトニハナラナイ、貸付等ノコトニ付テハ一々主務大臣ノ認可ヲ得ルトカ云フヤウナコトハ規定シテナイノデアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 尙ホ……

○政府委員(小平權一君) 尙ホ此施行ニ際シマシテハ第一條ニアリマス通りニ「主務大臣ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノデ、此處デ更ニ施行規則ガ出來ル譯デアリマス、其施行規則ニ於キマシテハ細カニ貸付條件モ決定スル譯デアリマス、ソレカラ尙ホ此法律ガ通過シマスレバ、政府ト産業組合中央金庫ト補償契約ヲ交換スルコトニナリマス、其補償契約ニハ詳細ナル條項ガ契約條項トシテ挿入サレルコトニナリマス、其補償契約ニ定メラレタル條件ニ適フコトニシテ中央金庫デ貸シマセスト云フト損失補償ヲ政府ガシナイコトニナリマス、ソレデ其條件ハ非常ニ詳細ナモノガ規定サレルコト

ニナッテ居リマス、從來ノ例ニ依リマシテモ、絲價補償ノ場合デモ、特融ノ場合デモ日本銀行ノ場合デモ非常ニ細カイ條件ガ定メラレテ居リマスカラ、其條件ニ依ッテ中央金庫ノ貸出ヲスル、其條件ニ適タモノヲ政府ハ審査會ニカケルト云フコトニナルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ政府ハ大藏省ニ一人農林省ニ一人産業組合中央金庫監理官ヲ特別ニ設置シテ常時監督シテ居リマス、其監督ハ當然此貸金ニモ及ブ譯デアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 能ク分リマシタ

○菅澤重雄君 只今ノコトニ關聯シテ御伺ヒシタイノデスガ、從來中小工業若クハ農村漁村等ニ低利資金ヲ貸スト云フ法規ヲ色色設ケテ政府ハ色々ノ方法ヲ執ッテ居リマシタケレドモ、ドウモ貸付ケヲスル手續ヤ、總テガ當嵌ラナイト云フコトデ、其目的ヲ達セラレナイ憾ミガアルノデスガ、我我ハ其貸付ヲスル手續トカ、細カイ法律トカ云フモノハ簡單ニシテ、サウシテ法律ノ精神ヲ成ルベク實行サセルヤウニシタイト云フコトノ希望ヲ持ッテ居ルノデスガ、マダサウ云フ貸付規程ヤ何カノ細カイモノガ出ナイトスレバ、豫メ斯ウ云フコトニシテ融

通ヲスルンデアルト云フヤウナコトヲ御伺ヒスルコトガ出來レバ聽キタイノデスガ、ドウモ今迄ノ例ニ依ッテ見マスと云フト、其手續ガムヅカシカッタリ、若クハ當嵌ラナイ、政府ハ損失ヲ成ルベク少ナイヤウニシヤウト云フコトデアルトナカ／＼條件ガムヅカシクナルカラ、遂ニハ其金ヲ借りルコトガ出來ナイト云フ結果ニナルノデスカラ、其處ノ所ヲ實際ニソレガスラ／＼ト行ヘルヤウ簡單ナモノニシテ成ルベク損害ハ初メカラシナイコトガ必要デハアラウケレドモ、其處ガ圓滑ニ行クヤウニ、簡易ニ行クヤウニシタイト我々ハ希望シテ居ル、其點ヲ豫メ聽クコトガ出來レバ伺ヒタイト思フ

○政府委員(小平權八君) 御尤モナ御尋デアリマシテ、從來低利資金ガ中央金庫ヲ通ジテ出ル場合ニ於キマシテモ色々ニ非難ガアリマシテ、其點ニ付テハ監督官廳ニ於テモ十分徹底スルヤウニシテ居リマスガ、從來ハ産業組合ノ無擔保貸付ニ付キマシテ、其條件デアル白紙信用ト云フモノガ甚ダ不十分デアリマシテ、從ッテ中央金庫デハ個人ノ保證トカ組合員ノ中ノ有産者ノ個人保證ヲ取ルト云フヤウナコトヲ餘儀ナクサレテ居ルノデアリマス、ソレデ今回ハサウ云フ點ハ甚ダ産業組合ノ無擔保貸付ノ精神ニ反

スルノデアリマスカラ、今回御協賛ヲ願フ産業組合法中改正法律案ノ骨子ハ、全國ノ産業組合ヲ一定ノ期間内ニ補償責任ニシマシテ白紙信用ヲ増加スルト云フヤウナコトモ、其目的ヲ貫徹スル爲ニ提案シタ次第デゴザイマシテ、ソレ等ノ點ガ改正サレテ來マスレバ、從來ヨリニ非常ニ白紙信用限度ガ増加シマスカラ、貸出ガ相當滑カニ行クヤウニ考ヘテ居リマスガ、尙ホ此特別融通ニ付キマシテハ、大體ニ於キマシテ個々ノ組合ガ貯金ヲ集メテ、其貯金ヲ組合員ニ貸付ケテ居リマス、ソレガ財界ノ非常ナ不況ニ依リマシテ、殊ニ農産物ノ下落ニ依リマシテ、固定シテ居ル譯デアリマスカラ、其固定シテ居ル組合ノ債權ヲ提供スル、簡單ニ申上ゲマスレバ、借用證書、ソレヲ中央金庫ニ質ニ入レテ中央金庫デハ特別融通ヲ組合ニシテヤルト云フコトニ致シマシテ、其外ニハ條件ハ附ケナイヤウニ貸シタイト考ヘテ居リマス、其外ニ色々個人ノ保證ヲシマストカ、或ハ尙ホムヅカシイ手續ハスルヤウニシナイデ簡單ニ借用證書ヲ中央金庫ニ質入シテ債權ヲ質入レニ依ッテ特別融通ガドン／＼出來ルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、勿論此協會ニ於キマシテモ無暗ニ非常ナ放漫ナ貸付ヲスルト云フコト

ハ、是ハ慎重ナケレバナラヌノデアリマス、將來産業組合ガ一定ノ期間内ニハ皆保證セシナラヌノデアリマスカラ、サウナリマスト云フト産業組合ノ信用限度ヲ増スノデアリマスカラ、此特別融通ニ於キマシテハ出來ルダケ簡單ニシマシテ、之ヲ農村ノ目下ノ資金ガ潤滑シ、金融ノ圓滑ヲ缺イテ居ルノニ對シテ速ニ救済ラスルヤウニシタイト考ヘテ居リマス、又中央金庫ヲシテ特ニ農村ノ組合ガ此金ヲ借リル爲ノ手續ノ爲ニ遅レルヤウナコトノナイヤウニ色ミ中央金庫ニ於キマシテモ今カラ準備シテ居ルノデアリマス、或ハ手續法ナドモ中央金庫デ簡單ニ印刷デモシテ以テ之ニ書込シテ戴ケバ直グ出來ルヤウニスルトカ色ミ中央金庫デハ府縣組合ノ信用組合聯合會ガ現在中央金庫ノ皆代理所ニナッテ居ルノデアリマスカラ、此代理所ニ於テ精査セシメマシテソレデドシム、貸付ガ出來ルヤウニシテヤルト云フ工合ニ色ミ今回ノ特別融通ニ於キマシテハ出來ルダケ速ニ簡單ニシタイト云フ計畫デ、準備シテ、出來ルダケ速ニ致シテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○菅澤重雄君 大體ハ伺ヒマシタガ其中デ、斯ウ承知シテ宜シイノデアリマスカ、サウスルト無擔保デ中央金庫ガ産業組合ニ

ヤル、ソレニハ證書ヲ擔保ニ取ルト云フヤウナコトデ、ソレニシテハ組合員ヲ保證責任トシテハ無限責任ニスル組合ノ規則ヲ斯ウ云フコトデ一面ニ於テハ之ヲ改善シテ行ク、斯ウ云フ風ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(小平權一君) 大體御説ノ通りデアリマシテ、今回ノ貸付ト大藏省ノ提案ノ不動産ノ固定貸トハ違ヒマシテ、アノ方ハ不動産抵當デ参リマスガ、此方ハ産業組合ノ金融ノ原則ニ則シマシテ、無擔保貸付ト言ヒマスノハ借用證書即チ債權質デ貸セルト云フコトニナルノデアリマス、尙ホ今度ノ産業組合法改正ニ依ッテ自然一方産業組合ハ一定ノ年限ノ後ニハ個々ノ組合人ガ僅ノ出資以外ニ一定ノ金額ノ保證責任ヲ取ルト云フコトニナリマスカラ、ソレ等ト相俟ッテ今回ノ特別融通ノ貸付ハ斷然無擔保賃債權ノ質入デ融通シタイト考ヘテ居リマス

○菅澤重雄君 政府ハ郵便貯金ヲ三分ニ下ゲタ、サウシテ成ルベク低金利政策ニ依ッテ中小工業若クハ農村ノ窮乏ヲ救ヒタイ、斯ウ云フ趣旨カラ見テ郵便貯金ノ利子ヲ下ゲタノデアルカラ、産業組合等ノ貸付ケル金モ思ヒ切ッテ低金利デナケレバ、矢張り農

村ハ救ハレナイト思フノデアリマスカ、此利率ヲ今度下ノ位ニスルノデアルカ、若シソレガ高カッタラバ最モ低利ニスルト云フ意思ガアルカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(小平權一君) 特別融通ノ預金部低利資金ノ貸付ノ利率ニ付キマシテハ只今ノ所預金部ノ經理上五分六厘デ貸付スルコトニナッテ居リマス、是ハ一方不動産ノ固定貸ニ對スル貸付ト同利率ニナッテ居ルノデアリマシテ、何セ此兩方ノ固定貸ノ低利資金ハ非常ニ多額ヲ要スルノデアリ、一方ガ五億圓、コチヲノ方ガ一億圓、六億圓ノ低利資金ヲ出ス計畫ニナッテ居ルノデアリマス、從テ預金部ト致シマシテハ、今ノ所預金部ノ經理上五分六厘ヨリ廉クスルコトハ困難ナヤウナ事情ニナッテ居リマス、五分六厘ヨリ廉クスルノハ困難ナ事情ガアルカト思ヒマス、今ノ所五分六厘ノ利率ト云フコトニナッテ居リマス、此點ニ付キマシテハ衆議院ノ委員會ニ於キマシテモ非常ニ金利ヲ廉クシテ貰ハネバナラヌト云フ議論ガ出テ参ッタノデアリマシテ、實行上若シ預金部ノ郵便貯金……遞信省ノ郵便貯金ガ三分ノ利率ニ下ゲラレマシテ、其結果將來預金部ノ經理上金利ガ下ゲラレルヤウニナレバ總テ此預金部ノ貸付ニ付テ之ニ順應シテ利

率ガ下ゲラレルコトニナルカ知ラス、ソレニ付テハ態、大藏事務次官ノ御出デヲ願ヒマシテ色ミ御説明ヲ願ヒマシタノデアリマスカ、ハッキリ將來此位マデ下ゲラレルト云フコトハドウシテモ言明出來ナイ、併シ金利ガ……郵便貯金ノ利率ガ三分ニナッテ後ニ於キマシテハ預金部ノ經理上、又預金部ノ國債ヲ持ッテ居ル國債ノ額等ニ依リマシテ經理ガ出來マスレバ相當考慮シナケレバナラヌコトデアルト云フ御答ガアッタノデアリマシテ、此點ハ農林省ト致シマシテハ出來ルダケ廉ク致シテ戴クヤウニ大藏當局ニハ常ニ交渉シテ居ルノデアリマシテ、サウシテ又郵便貯金ガ三分ニ下リマスレバ尙ホ其機會ニ於キマシモ、農林省デハ大藏當局ニ極力金利ノ引下ハ主張シテ努力シタイト思ッテ居ルノデアリマスカ、預金部ノ經理上ニカカッテ居ル所デアアルヤウニ大藏當局ヨリ伺ッテ居リマスカラ、ソレ等ノ點ハ私カラ明確ニハ申上ゲラレナイノデアリマス、農林當局トシテハ成ルベク廉クスルト云フコトニ努力ヲスル積リデアアル、ソコダケヲ申上ゲマシテ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○菅澤重雄君 尙ホ御伺ヒシマスカ、將來ノコトニ付テハ大藏省ニ交渉シテ成ルベク廉クスルト云フヤウニ努力スルト云フコ

トニ御願ヲシマシテ、ソレデ宜シイデス
ガ、現在産業組合が中央金庫ヲ通ジテ借ル
所ノ金利ヲハッキリ伺ヒタイ、ソレハ今ド
ノ位デ融通シテ居リマスカ

○政府委員(小平權一君) 此特別融通ノ此
制度ニ依リマシテ融通スル金額ハ三年間ニ
一億圓ニナツテ居リマシテ、其預金部ノ貸出
金利ガ五分六厘デアリマス、ソレカラシテ
中央金庫ノ手数料ガ五厘デアリマシテ、個
個ノ組合ニ互ル場合ニハ六分一厘ニナル計
畫デアリマス

○菅澤重雄君 分リマシタ

○委員長(子爵前田利定君) 先程一委員ノ
御方カラ十一時カラ本會議ノ方ニ陸軍大臣
ノ報告ノ演説ガアルカラ、成ルベクハ一時休
憩シテ貰ヒタイト云フ御話ガアリマシタガ、
重要ナル軍事報告デアラウト思ヒマスカ
ラ、皆様ニ於テ御異議ガゴザイマセスケレ
バ一時休憩イタシマシテ、午後一時カラ再
會ライタシタイト思ヒマス、皆様如何デス
カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ午前
ハ休憩イタシマス

午前十一時二分休憩

午後二時十五分開會

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ午前
ニ續キマシテ特別委員會ヲ開會イタシマシ
テ、午前ノ議題デゴザイマシタ産業組合法
中改正法律案ニ付テ、御質疑ガゴザイマス
レバ御續行ヲ願ヒマス

○子爵西尾忠方君 大臣カ政務次官ガ御出
デニナリマスカ

○政府委員(小平權一君) 都合ガ付ケバコ
チラニ參リマスガ……

○委員長(子爵前田利定君) 御所望ガアレ
バ御出席ヲ促ガシテ置キマス

○子爵西尾忠方君 御出デヲ願ヒタイ

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ御出
デニナルヤウニ望ンデ置キマス

○子爵西尾忠方君 私御尋ネ致シタイノハ
第一條ニ「其ノ固定セル債權」ト云フコトガ
ゴザイマスガ、此固定貸ト云フコトハドウ
云フコトヲ意味シテ居ルノデアリマスカ、
其點ヲ一ツ伺フテ見タイノデアリマス、現
在償還ガ延滞シテ居ルモノデアッテ藉スニ
年月ヲ以テスレバ、ソレガ結局回收シ得ル
モノデアルカ、此意味デアラウト思ヒマス
ガ、尙ホ到底回收ノ見込ノナイ不良貸付ヲ
モ此中ニ含ンデ居リマスカ、其點ヲ一ツハッ
キリ承ハリタイト思ヒマス

○政府委員(小平權一君) 西尾子爵ニ御答

ヘ致シマス、此固定貸ト申シマスルモノハ
大體三億萬圓ニ達シテ居リマス、ソレハ産
業組合中央金庫ヲシテ特ニ調査イタサセタ
結果ニ依ッテ三億圓ノ數字ガ出テ參ッタノデ
アリマス、是ハ期限到來シテ尙ホ一年以上
償還ガ後レテ居ルモノヲ見込シテ約三億圓
ニナツタノデアリマシテ、其固定ト云フノハ
個々ノ産業組合……信用組合ガ組合員カラ
貯金ヲ受入レマシテ、ソレヲ組合員ニ貸付
ケテ、ソレガ此農産物ノ非常ナ下落ノ爲ニ
此一兩年償還ガ困難ニナツテ來タモノヲ見
テ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此固定シ
テ居ルモノヲ將來五年十年ト長イ年月ヲ掛
ケレバ取レルモノデアリマシテ、此際ソレ
ガ固定シテ居ルガ爲ニ、個々ノ信用組合ノ
機能ガ發揮サレナイノデアリマス、併シ相
當時日ヲ掛ケテ……段々農産物モ上向ニ
ナツテ來テ居リマスシ、農村ノ振興策モ段々
行ハレテ來マスレバ、應テハ返セルモノデ
アリマスガ、今直チニ償還出來ナイ、斯ウ
云フ産業組合デハ、一方ニハ約十億圓内外
ノ年度末現在ノ零細ノ預金ヲ預カッテ居ル
ノデアリマスカラ、其零細ノ預金ハ今カラ
冬ニカケ舊正月等ニカケテハ相當引出シガ
アル、サウ云フ場合ニ急場ニ備ヘテ此不況
ノ信用組合ノ困ッテ居ル時機ヲ切抜ケヤウ

ト云フノデアリマシテ、勿論是ハ將來其期
限ガ十五年ノ期限デ貸シテ居ルノデアリマ
スカラ十五年賦償還スレバ十分償還出來ル
見込ノモノニ貸付ケルノデアリマシテ、如
何ナル手段ヲ以テモ生カシテ行クコトノ出
來ナイモノニ對シテハ、是ハ別ノ方法デ整理
セネバナラスノデアリマシテ、ソレ迄及ボ
スト云フ考ハ有ッテ居ラナイコトデアル、左
様御承知ヲ願ヒマス

○子爵西尾忠方君 次ニ「固定セル債權ヲ
資金化シテ」ト云フノガゴザイマスガ、資
金化スルト云フコトハ此固定貸付債權ヲ擔
保トシテ將來ニ於ケル所ノ回收豫想ヲ考ヘ
マスレバ其元金ノ全部又ハ幾部ニ對シテ資
金ヲ融通スルト云フ程度デゴザイマセウ
カ、或ハ又債權金額ニ對スル融通ヲナサル
ノデアリマセウカ、其程度ニ付キマシテ承
ハリタイト存ジマス

○政府委員(小平權一君) 固定シタ貸付ノ
債權ノ金額ニ付テ貸付ケルヤウニ考ヘテ居
ルノデアリマス、組合ニ依ッテソレ迄ノ必要
ノナイモノハ勿論是ハ貸付ハ致サスノデア
リマスガ、原則トシテハ固定シタル借用證
書等ヲ質ニ入レテ貸付ケルノデアリマスカ
ラ、全額マデ出來ルコトニ原則トシテ考ヘ
テ居ルノデアリマスガ、勿論其組合ノ信用

如何ニ依ッテハ或ハ全額迄行カヌコトモアリマスシ、又全額マデ借りナイデモ間ニ合フ次第モアリマスガ、原則トシテハ全額マデ貸シテ置クコトニ考ヘテ居リマス

○子爵西尾忠方君 サウスルト只今ノ御話ニ依リマス、全額迄ヲ融通スルコトガ原則デア、サウスルト將來其爲ニ缺損ガ矢張り相當ニ大キクナリ得ルダラウト思ハレマスカラシテ、從ッテ此處デ中央金庫ノ方ニ於テノ貸出ガサウ容易ニ圓滑ニ行カナイヤウナコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、其點ハドウ云フモノデゴザイマセウカ

○政府委員(小平權一君) 此貸付ハ個々ノ信用組合ガ借入レルノデアリマシテ、其信用組合ガ固定貸ヲ流動化スル爲ニ借入レル擔保トシテノ債權ハ全額迄モ貸シ得ルノデアリマシテ、其組合ノ信用限度カラ考ヘマシテ、一應ハ信用組合ガ其貸付ニ付テハ全部償還スル義務ニナッテ居ルノデアリマス、中央金庫トシマシテハ其信用ヲ照シテ貸付ケルノデアリマス、勿論個々ノ信用組合ノ信用限度ガ今度ノ法律ノ改正ニ依ッテ増加イタスノデアリマスカラ、其貸付ニ付テハ相當圓滿ニ速ニ行ハレルモノト考ヘマシガ、組合ニ依リマシテハ或ハ全額ヲ貸付ケナイコトモアルカト思フノデアリマス、ソ

レハ個々ノ組合カラ持ッテ來タ固定貸ト云フモノヲ一括シテ見ルコトニナッテ居リマシテ、大體ニ於テ組合ノ固定貸ヲ總括シテ中央金庫ト相談シテ貸付ケルノデアリマスカラ、或ハ其持ッテ來ラレタ總額ノ金額ニハ及バヌコトモアリ得ルノデアリマスカラ、是ハ中央金庫ノ當事者ガ農林大藏ノ兩省ノ意向ヲ聽イテ圓滿ニ……將來政府ニ於テ非常ナ負擔ニナルヤウニハナラナイト思ヒマス、ソレカラ中央金庫自體ト致シマシテモ政府ノ補償ガナケレバ貸付ガ出來ナイノデアリマスカラ、政府ハソコハ十分監督シテ資金ノ融通ヲ滑カニシタイト考ヘテ居リマス

○子爵西尾忠方君 大體分リマシタガ、サウシマス、總テ信用組合ノ信用程度如何ト云フコトハ矢張り十分ニ御考ヘニナッテ、必シモ其金額ニ對シテ貸サナケレバナラスト云フ、責任ト申シマスカ、義務ガナイ譯デアリマスカ

○政府委員(小平權一君) 左様デアリマス、必ズシモ全額ニハ行ヌカコトモアリ得ルノデアリマス

○子爵西尾忠方君 分リマシタ

○委員長(子爵前田利定君) 御承知デモゴザイマセウガ、政務次官ガ見エテ居リマ

ス

○子爵西尾忠方君 ソレカラ期限デス、其固定債權ノ債權者トシテ取ルモノトスルナラバ、手續ガ幾分煩瑣デアリマシテ、相當時日ヲ要シマスカラ、何等カ此際簡便法ヲ御設ケニナルヤウナ御考ヘガアリマスカ、其點ヲ承ハリタイト思ヒマス

○政府委員(小平權一君) 債權利子ヲ取ルノデアリマシテ、其債權ヲ又質ニ入レルノデゴザイマスカラ、ムヅカシク言ヘバ相當手數ガカカルト思フノデアリマスガ、是ハ各府縣ノ産業組合聯合會ガ中央金庫ノ代理業務ヲ務メルノデアリマシテ、其代理所ニ於テ總テ手續ハ明瞭ニ致スコトニ致シマシテ、其代理所ニ於キマシテ個々ノ信用組合ノ信用ヲ査定イタシマシテ、ソレガ中央金庫ニ來レバ直チニ貸付ガ出來ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレデ尙ホ此貸付ニ付キマシテハ、ドウシテモ地方廳ヲシテ特ニ貸付ヲ速ニ進行スルヤウニ致サナケレバナラヌト思フノデアリマスカラ、此法律ガ通リマスレバ直チニ各府縣ノ産業組合ノ係ヲ招集シマシテ、産業組合ガアル所ニハ産業組合ノ課長以下職員ヲ招集シマシテ、手續ハ略スルコトガ出來ナイモノハ無論略シマセヌガ、相當法律ノ趣旨ヲ決定シテ速ニ金

ガ出ルヤウニ致シタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵西尾忠方君 政務次官ガ御出デナリマシタカラ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、大體同ジコトデ、政府委員ノ御説明デ無論結構デゴザイマスガ、此第一條ノ固定セル債權ト云フ點ニ付キマシテ、本員ハ將來多少變フル點モゴザイマスノデ、先刻政府委員カラシテ、到底回收ノ見込ノナイ不良貸付ハ之ニ含マヌト云フ御答辯デ非常ニ安心イタシマシタノデアリマスガ、政務次官トシテモ無論其意味ニ於テ御了承ノコト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(伯爵有馬頼寧君) 只今御話ノゴザイマシタヤウナ此場合貸付ケマスル固定貸付金ト云フモノハ曩キニ政府委員カラ御答ヘ致シマシタヤウニ、此融通ヲ將來支障ヲ來シマスルヤウナ惧レノアルモノニ於キマシテハ、勿論貸付ヲ致シマセヌヤウニ十分注意ヲスル積リデアリマス

○子爵西尾忠方君 私ハ大體是デ終ッテ置キマス

○侯爵大久保利武君 只今ノ御質問ニ關聯シタコトデアリマスガ、先程ノ政府委員ノ御説明デ大分了解イタシマシタガ、固定貸付ガ十億万ノ中デ三億ト云フコトニナッテ

居ッテ、共三億ノ三分ノ一ヲ今度此特別融
通ヲシテ、固定シテ居ルノヲ融通シヤウト
云フ御説明ヲ伺ヒマシタガ、サウ致シマス
ト、残りノ二億圓ト云フモノハ大體モウ不
良貸付デ到底長イ年月ヲ經ッテモ回收ノ見
込ノナイモノデ一億ダケガ先ヅ其回收ガ出
來ル途モ立タウガ、二億圓ト云フモノハモ
ウ到底救済ノ出來ヌモノデアル、斯ウ云フ
風ナコトニ承知シテ宜イノデゴザイマス
カ、チョット其邊ノコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(小平權一君)

御尋ノ點ハ或ハ

説明ガ足りナカッタカトモ思ヒマスノデア
リマスガ、此三億圓ト云フ固定貸ハ期限ガ
來マシテ、僅ニ一年滞ッタモノヲ全部舉ゲ
テ見タダケデアリマシテ、從來ノ貸付ニ於
キマシテモ一年滞ッタバカシデ返ヘセスト
云フヤウナノガ少ナイノデアリマス、ソレ
デ三億圓ノ中デモ固定ト言フノダケレド
モ、政府ノ特別融通ヲ受ケテマデモドウシ
テモヤラネバナラスト云フモノガ全部三億
圓デモナカラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘマシ
テ三億圓ノ中ノ一億圓ヲ融通スレバ、大體
ソレデ間ニ合フノデハナカラウカ、斯ウ考
ヘテ居ルノデアリマシテ、箇々ノ組合ニ於
キマシテモ、個々ノ組合デ固定シテ居ルモ
ノモ全部政府カラ借りテ來ナイデモ、其中

ノ三分ノ一位ヲ特別ニ融通ヲシテ貰ヘバソ
レデ組合ノ方ハ賄ヒ得ルコトニナルノデア
リマスカラ、結局個々ノ組合カラ考ヘテ見
マシテ、組合全體カラ見テ固定ハシテ居リ
マスケレドモソレヲ滑カニスル爲ニ、特別
融通ハ約三分ノ一デアレバ宜イト云フコト
カラ割出シタモノデゴザイマシテ、箇々ノ
組合ノ固定貸ノ中ニハ色々差別ガアリマシ
テ、結局是ハ個々ノ農民ニハ間接ニ行キマ
スノデ、箇々ノ信用組合ガ約三分ノ一ノ資
金ヲ此際十五箇年賦償還デ借リラレレ
バ、サウスレバ組合ハ非常ナル運用ガ出來
ルト云フコトカラ割出シタノデアリマシテ、
残りノ一億ガ全部非常ナ困難ノモノデアル
ガ、ソレダケヲ救フト云フ意味デハナイノ
デアリマス、個々ノ組合ニ三分ノ一ノ資金
ガ出テ行ケバ宜イト云フ位ニ考ヘテ居ルノ
デアリマス、左様御了承ヲ願ヒタイ

○侯爵大久保利武君

モウ一ツ伺ヒタイノ
デゴザイマスガ……

○委員長(子爵前田利定君)

ドウゾ

○侯爵大久保利武君 十億圓ノ中デ三億ハ
マア所謂固定貸ヲシテ居ル、後七億デスガ、
是ハマア各種ノ組合カラシテ貸付ケテ居
ルノガアルデセウガ、是ハ大體皆回收ノ見
込モ相當ニツキ、別ニ固定ハシテ居ラヌケ

レドモ將來償還スルト云フ御話デ心配ガナ
イト考ヘテ居ラッシャルノデセウカドウデ
セウカ

○政府委員(小平權一君)

十億ノ中ノ七億

ト云フノハ此昭和六年ノ年度末ノ大體ノ調
査推定デアリマスガ、ソレハマダ期限ガ來
テソレヲ催促シテモ返ヘサスト云フヤウ
ナ、サウ云フ不良ノ狀態ニハナッテ居ラナイ
ノデアリマス、從テ是ハ組合ノ思ヒ通りノ
經營ニ依ッテサウ各組合トシテハ長ク是ガ
固定シテ殘ルモノトハ今ノ所考ヘラレナイ
部分ガ一億アルノデアリマス、三億ダケガ
中央金庫ノ調べデ一年以上超過シテ居ル、
斯ウ云フ工合ノ數字ガ出テ來テ居ルノデア
リマス、殊ニ中央金庫及ビ各組合ノ關係ガ
前ノ關係ノ場合トハ違ッテ大分滑ニナッテ來
テ居ルノデアリマスカラ、御承知ノヤウニ
相當是ハ滑カニ償還ガ出來ルノデハナカラ
ウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵前田利定君)

モウゴザイマ
セヌカ

○侯爵大久保利武君

第一條ハソレデ私ハ
モウ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵前田利定君)

大久保侯爵、
モウ貴方ハ宜シウゴザイマスカ

○侯爵大久保利武君

外ニゴザイマスケレ

ドモ續ケテ宜シウゴザイマスカ、今一條ニ
付テ何シタノデスケレドモ、外ニマダ……

○委員長(子爵前田利定君)

イヤ宜シウゴ
ザイマス、補償法案全體ニ付テ……

○侯爵大久保利武君

ソレデハ續ケテ宜シ
ウゴザイマスカ

○委員長(子爵前田利定君)

宜シウゴザイ
マス

○侯爵大久保利武君

第二條ニ「特別融通
ヲ爲スハ本法施行ノ日ヨリ三年トシ」ト云
フコトニナッテ居リマスガ、先程產業組合ノ
方ノ法案ニ付テ、都市改正ノ方ハ五年トナッ
テ居リマスガ、是ハ此三年トアルガ、別ニ
其方ト關係ハ全ク無イノデゴザイマスカ、
其方ノ三年ト產業組合ノ組織變更ノ猶豫期
間ノ五年ト云フモノトハ全ク關係ノ無イモ
ノデゴザイマスカ

○政府委員(小平權一君)

此三年ト產業組
合法ノ附則ノ第二條ノ三年トハ別ニ關係ハ

ゴザイマセヌノデゴザイマス、ソレデ產業
組合中央金庫ガ此特別融通ヲ致シマス場合
ニ於テハ將來產業組合ガ一定年間ニ必ズ保
證責任ニナルト云フコトニ決マッテ居リサ
ヘスレバ、其範圍内ニ於テ信用限度ヲ査定
スルノデアリマスカラ、別ニ具體的ノ關係
ハゴザイマセヌノデゴザイマス、左様御了

承ヲ願ヒマス

○侯爵大久保利武君

此四條ノ産業債券ノ發行デゴザイマスガ、是ハ中央組合法デ何レ私ハマダ詳シク書類ヲ拜見イタシテ居リマセヌノデ御尋ガ少シドウカト思ヒマスルガ、産業債券ハ中央金庫ノ發行限度ト云フモノガチヨット決マテ居リマシテ、尙ホ合ハセテ大體中央金庫ノ資力ノ基礎ト云フモノハ政府ノ出資トカ組合ノ出資トカト云フモノデ中央金庫ノ資力ト云フモノハ出来テ居ルノデアリマスカ、是ハ現在ドウ云フ風ニ、ドレ位ニナッテ居ルノデアリマセウカ、詰リ産業債券ノ發行限度ヲ、ドノ位今マデ産業債券ヲ發行シテ居ルモノデアリマスカ是等ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(小平權一君)

現在中央金庫ノ産業債券ヲ發行シ得ル限度ハ拂込濟出資金ト積立金準備金、ソレカラシテ其他有價證券等ヲ標準トシテ發行イタシテ居リマスガ、拂込出資金ノ約十倍ダケハ發行出来ルコトニナッテ居リマス、從テ現在中央金庫ノ出資金ハ三千七十万圓ニナッテ居リマシテ、其中デ既ニ拂込濟ハ政府ノ出資ヲ入レマシテ、三千万圓ニ達シテ居リマス、從テ其十倍ノ三億ノ債券ヲ法律上發行スルコトニナッテ居リマス、而シテ現在中央金庫デ發行シテ

居ル債券ハ、是ハ一般ノ市場ニハ全然出テ居リマセヌノデアリマス、預金部カラ金ヲ借ルダケノ債券ヲ發行シテ居リマス、其債券ノ發行ノ額ハ五千万圓、其五千万圓ダケ債券ヲ發行シテ居ルノデアリマスカラ、債券ノ餘力ハ現在ノ法律ノ範圍内デ十分ゴザイマスノデアリマス、併シ萬一中央金庫ガ擴張サレマシテ、此三億圓ヲ増加スル場合ガアリマスツコト、ソコデ急ニ方針ヲ變ヘルト云フコトモ出来マセヌノデアリマスカラ、此際萬一ヲ慮レマシテ其十倍ト云フ制限以外ニ、特別融通ノ爲ニ債券ヲ發行スルト云フコトニ致シタノデアリマス、併シ實際ノ場合ニ於テハ拂込出資金ノ十倍即チ三億圓以上ノ債券ヲ發行スル必要、即チ四條ノ規定ヲ必要トスル場合ハ恐ラクアルマイト考ヘテ居ル次第デアリマス、而モ此債券ハ大藏省ノ預金部ニ入ル債券デアリマシテ、一般市場ニ出ナイ債券デアリマスカラ、此場合ハ擴張ハ支障ハナイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス

○侯爵大久保利武君

第八條ノ國庫カラシテ交付スル公債ノ發行ニ必要ナル額トアルガ、此必要額ハ無論其時ニナッテ御極メニナルノデセウガ、凡ソ今回ノ準備融資ノ上ニ付テ、凡ソノメドヲ付ケテ居ラルノデセ

ウカ、全ク分ラヌ其場合ニ必要ナル額ヲ極メルコトニナッテ居リマスカ

○政府委員(小平權一君)

政府デ損失ヲ補償スル限度ハ第五條デ三千万圓ニ限ッテ居ル、三千万圓ノ範圍内ニ於テ債券ヲ、公債ヲ發行スルノデアリマスケレドモ、此公債ハ時價デ交付イタスコトニナリマスカラ、ソレデ實際三千万圓ノ公債ノ發行デハ最高限度マデ行ッタ場合ニハ足りナクナルノデアリマスカラ、第八條デ三千万圓ダケヲ發行スルノデナクテ、三千万圓以上ニ上ルコトガアルト云フノデ、三千万圓ノ交付ヲスル場合ニ必要ナル額ト云フモノガ三千万圓トチヨット喰違ッテ來ルノデアリマス、ソレデ第八條ノ規定ヲ入レタ譯デアリマス、ソレ以上別段三千万圓ヲドノ位交付スルト云フコトハ、是ハ個々ノ場合デナイト云フト、今カラノ豫定ハ出来ナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○侯爵大久保利武君

是デ宜シウゴザイマス

○松本勝太郎君

本案ノ趣旨ハ組合ガ貸付ケテ居リマスル所ノ、固定シテ居ル債權ヲ資金化シテ金融ノ疏通ヲ圖ルト云フノガ本案ノ目的ニナッテ居ルノデアリマス、勿論組合ノ固定シテ居ル資金ヲ組合ノ救済ノミデ

ナクシテ、救済シタナラバ從ッテソレガ資金化シテ金融ノ圓滑ヲ圖ルコトニナッテ、現今困憊シツツアル所ノ産業、事業界ヲモ從ッテ救済スルコトガ、出来ルト云フコトハ私ガ今御尋ネスルマデモナク無論立法ノ精神ガソコニアルモノト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、果シテソレト致シマスレバ私ハ茲ニ農林當局ニ一ツノ例ヲ舉ゲテ此案ヲ徹底セシメタイト思ヒマシテ御尋ネシタイト思ヒマス、農林當局ハモウ十分御承知ノコトト存ジマスルガ、地方ニ於キマシテハ養蠶ヲ保護スル意味ニ於キマシテ乾繭組合ト云フモノガ設ケラレテ居ルノデアリマス、乾繭組合ナルモノハ繭ノ暴落ニ伴ヒマシテ非常ニ疲弊困憊ニ陥ッテ居ルノデアリマス、ソレハ先般來モ地方カラハ其救済ニ付キマシテ農林當局ニ屢、數願ニモ參ッテ居ル筈デアリマス、此窮狀ニ付キマシテハ當局モ十分御承知ノコトト私ハ拜承イタシテ居ルノデアリマス、此案ガ通過イタシマシタ曉ニ於キマシテ是ハ一ツノ例トシテ御尋スルノデアリマスルガ、斯カル窮狀ニ陥ッテ居リマスルモノガ此案ガ實施後ニ於キマシテドノ程度ニ助カルモノデアルカ、或ハ此案トハ何等關係ヲ有タナイモノデアリマスカ、農林當局ノ此點ニ於ケル御意嚮ヲ確メテ置キタ

○政府委員(小平權一君)、御尋ノ點ハ、

販賣組合ノ乾藁倉庫ニ、藁ヲ保管サセテ多分前渡金ヲ渡シテ居ル、其前渡金ノ渡シタノガ入ラヌ爲ニ乾藁組合ガ困難シテ居ルコトノ事情ノ御説明ノヤウニ伺フテ居リマスガ、此法律ハ信用組合ト……詰リ聯合會ノ金融機關トシテノ産業組合ノ機能ヲ十分發揮サセル爲ニ特別ニ融通ヲシテ組合資金ノ融通ヲ圓滑ニシヤウト云フノデアリマシテ、直接ノ連絡ハ乾藁組合トハナイノデアリマス、併シ此特別融通ハ信用組合聯合會ニモ此固定貨ノ資金化ノ爲ニ融通シテヤルノデゴザイマシテ從テ乾藁組合ハ聯合會カラ資金ヲ借りテ居リマシテ、ソレガ爲ニ聯合會ニ融通シテ居ル場合ニハソレガ流動資金トナリマシテ、間接ニハ乾藁組合モ相當便宜ヲ得ルヤウニ考ヘラレマスノデアリマス、又乾藁組合ガ信用組合ヲ兼ねテ居ル場合ニ於キマシテハ、其信用組合ヲ兼ねテ居ル組合全體トシテ此貸付ニ依テ長期ノ金ガ取り敢ヘズ組合ニ互ル譯デアリマス、其關係ニ於テ資金ノ圓滑ヲ來シマシテ急場ヲ救フコトガ出來ルコトニナルト思フノデアリマスガ、併シ此法律ハ直接ニハ信用組合聯合會、信用組合ヲ目的トシテ其融通資

金ノ流動化ヲ圖テ金融機關トシテ資金ノ圓滑ヲ圖ルコトニシテ其信用組合、信用組合聯合會ノ資金ノ融通ガ滑カニナリマスレバ、ソレニ依テ一面組合ニハ資金ガ自然ニ融通サレ組合員ガ貯金ヲ拂戻ス場合ニ於テハ滑カニ貯金ノ拂戻ガ出來テ、農村ニ於ケル金融ノ逼迫ヲ段々解イテ行クト云フコトニナルノデハナカラウカ、コンナ工合ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松本勝太郎君 只今御説明ニ依リマシテ御趣旨ハ能ク了解イタシマシタ、尙ホ今一ツ伺フテ置キタイト思ヒマスルノハ午前中ニ他ノ委員カラノ御質問モアッタヤウデアリマスガ、特別融資ニ對シマスル中央金庫ノ融通スル所ノ利率ニ付キマシテ私ハ少シ聴キ洩ラシテ居ルノデアリマスガ、ドノ程度ノ當局ハ御考ヘニナッテ居ルカ、其事ヲ今一應御説明願フテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(小平權一君) 今回此特別融通損失補償法ニ依テ融通シマス資金ノ額ハ約一億デアリマシテ、ソレハ大藏省ノ預金部カラ貸付ケルノデアリマス、其償還期限ハ十五年、此法律ニアリマスル十五年デアリマス、此利率ハ五分六厘ニナッテ居リマス、預金部カラ出ス利率ガ五分六厘ニナッテ居リマス、中央金庫ガ五分ノ利轄ヲ取り

マシテ六分一厘デ産業組合ニ渡ルコトニナッテ居リマス、此五分六厘ニ付キマシテハ預金部トシテハ現在ノ所此種ノ貸付ハ不動産固定ノ方ヲ合セマシテ六億ニナルノデアリマス、是以下ノ利率ニスルト云フコトハ現在ノ預金部ノ狀況デハ相當困難デアラウト思ヒマス、從テ五分六厘ニ決定ヲサレテ居リマスガ、是ハ將來郵便貯金ノ利子ガ三分ニ下リマスレバ農林當局トシテハ大藏省預金部ニ交渉シマシテ出來ルダケ利子ヲ安クスルヤウニ交渉シヤウカト思フテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイマス

○松本勝太郎君 宜シウゴザイマス

○西野元君 只今ノ御質問ニ關聯イタシマシテ私モチョット伺ヒタイノデアリマスガ、ソレハ此結果ト、ソレカラ主トシテ農林ノ債務整理ノコトノ關係デアリマス、此法案ハ直接ノ目的トシテハ信用組合ノ固定貨ノ資金化ト云フコトデアリマスカラ別ニ農村ノ債務整理ト云フコトガ直接ノ目的ニナッテ居ラスノデアリマスガ、政府ノ御計畫トシテ大體ノ是ガ矢張り農村ノ負債整理ノ一ツノ手段デアルト云フ御計畫デアリマス

カ、或ハサウ云フ方面ノ直接ノ目的デモナク、サウ云フ御計畫デナク自然ニ是ガ廻リ廻テ自然ノ結果トシテ農村ノ負債整理ノ一ツノ手段ニナルデアラウト云フ御意見デアリマスガ、或ハ全然ハ全ク目的トシテノ關係モナシ、又自然ノ結果ニモ別段ノ關係ガナイト云フコトデアリマスガ、其點ヲチョット伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ若シ政府ノ御計畫デ是モ農村ノ負債ノ整理ノ一ツノ手段デアルト云フコトナラバ勿論ノ話デアリマスガ、假令サウ云フ目的デハナイトモ是ガ自然ニサウ云フコトニナルデアラウト云フコトナラバ、ドウ云フ順序ヲ以テサウ云フ風ナ效果ヲ奏スルコトニナルノデアリマス、少シ其邊ニ付テノ御見解ヲ伺フテハッキリト本案ノ働キヲ心得テ置キタイト思ヒマス、大體サウ云フコトニ付テ御説明ヲ承ハリタイト思ヒマス

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ農村負債整理トノ關係ノコトデアリマスガ、此法律ニ依テ特別融通ヲ致シマスノハ個々ノ信用組合ガ組合員カラ貯金ヲ集メマシテハソレヲ組合員ニ貸付ケテ來テ居ラヌノデアリマスガ、ソレガ農産物ノ非常ナル暴落ニ依リマシテ、其貸付ガ短期間ニ回收ガ出來ナイト云フ結果ニ相成テ居ル金額ガ相當ノ高ニ達シテ居ルノデゴザイマス、ソレヲ

長イ年限掛カレバ取レルノデアリマスガ、

今急ニハ取レナイカラ信用組合ノ機能ガ停

頓シテ居ルヤウナ状態デアリマシテ、ソレ

ヲ特ニ此際政府ガ代テ金ヲ貸付ケテ、サウ

シテ組合員カラハ徐々ニ相當ノ年限ヲ掛ケ

テ組合ニ償還シテ、ソレデ此際ノ資金潤渇、

農村ノ資金ノ固定ヲ解イテ行カウト云フノ

デアリマシテ、從テ産業組合カラ借りテ居

ル組合員ハ今急ニ金ヲ産業組合ニ拂ヒ込マ

ナイデモ、十五年ノ年賦償還デ拂込ムコト

ニ相成ルノデアリマスカラ、農村ノ組合員

トシテハ非常ニ樂ニナルノデゴザイマス、

從テ農村ノ負債ト申シマシテモ色ニアリマ

スガ、産業組合關係ノ負債ハソレデ長イ年

賦金デ償還スルコトニ變リマスカラ、産業

組合ニ對スル金ヲ今急ニ工夫シテ返サナケ

レバ、産業組合デハ其組合員ノ財産ヲ押ヘ

ルトカ云フヤウナコトハ此融通ニ依ッテ相

當緩和サレルノデゴザイマス、間接ニハ農

村ノ負債ノ重壓ヲ緩和スルコトニ關係ハ持

ツ譯デアリマスガ、併シ農林省デ考ヘテ居

リマスル農村負債整理ト云フモノハ、農村

ノ負債ニ付キマシテ色ミ負債ノ償還計畫、

農家經濟ノ更正計畫等ヲ色ミ立テマシテ、

サウシテ更ニ債權者債務者等ニ於テ調停ヲ

致シマシテ、サウシテ此債務ノ整理ヲシテ

行カウト云フノガ中心デアリマシテ、從テ

農林省デ考ヘテ居リマス負債整理ノ方法ト

此方トハ直接ノ聯絡ハナイノデアリマス、

全然違ッタ方面ニ、各、此資金ノ融通ガ行ク譯

デアリマシタ、間接ニハ農家ノ負債ノ重壓

ガ輕クナルノデアリマスケレドモ、一方農

村負債整理ノ方法ハ主トシテ個人ノ貸借ヲ

考ヘテ居ルノデアリマス、信用組合トカ……

金利モソレカラシテ總テ合理的ニ決マッテ

居ル、サウ云フモノノ負債ヨリハ寧ロ個人

間ノ貸借デ、金利デアリマストカ其他總テ

ノ條件ガ如何ニモ此際トシテハ無理デアル

ヤウナモノヲ整理シテ、サウシテソレノ整

理ノ付イタモノニハ、其整理シタ負債整理

組合ニ預金部カラ金ヲ貸付テ、サウシテ債

權者ノ方ニ返シテヤッテ資金ノ負債ノ重壓

カラ免レルト云フノデアリマスカラ、直接

ニハ聯絡ガナイコトニナリマス、左様御承

知ヲ願ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 如何デゴザイ

マスカ、特別融資及ビ損失補償法案ニ付テ

ノ御質疑ガゴザイマセヌケレバ産業組合法

中改正法律案、此法律案ニ付キマシテ御質

疑ガゴザイマスナラバ此際ニ御願ヒシタイ

ト思ヒマス

○侯爵大久保利武君 只今ノ前ノコトニ付

テチヨット一言伺ヒタイト思ヒマスガ宜シ

ウゴザイマスカ

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイ

マス

○侯爵大久保利武君 チヨット承ハリタイ

ノデスガ、此度ノ臨時融資ノ機關トシテハ、

申上ゲルマデモナク中央金庫ガ其機關デ

アッテ、ソレガ一億圓ノ融資ヲスルニ付テ、

三分ノ一ダケハ政府ガ之ヲ補償シテヤルト

云フコトデアルノデアリマスガ、申スマデ

モナク此中央金庫ノ今回ノ特別融資ニ付テ

ハ、中央金庫ノ基礎ヲ危クセヌカト云フコ

トハ無論御考ヘニナッテ居ルコトデアラウ

ト思ヒマスガ、是ハ最モ大事ナ點デアッテ、

苟モ中央金庫ガ其基礎ガ危ブマレルト云フ

ヤウナコトニナッテハ、全體ノ此融資ノ方

法モ旨ク行カヌノダラウト思フノデアリマ

スガ、三分ノ一ト云フコトヲ決メラレタコ

トハ既ニ御説明ニナッタカモ知レマセヌガ、

三分ノ一ダケ政府ガ補償ヲスルト云フノ

ハ、何等カ目安ガアッテノ三分ノ一ト云フ

コトニナッタノデアリマセウカ、後ノ三分ノ

二ト云フモノハ勿論補償ハナイノデ、中央

金庫ガ一切ノ責任ヲ持タナケレバナラス、

ソレニ付テモウ一ツ伺ヒタイ點ハ、産業組

合法デ無限責任組合ニ組織ヲ變更スルニハ、

三年デアッタノヲ五年ニ衆議院デ修正サレ

タヤウデアリマス、我々考ヘルノハ成ルベ

ク此組織變更ノ期間ト云フモノハ、短クシ

テ成ルベク短イ期間ニ行ハシメルト云フコ

トガ適當ニ思フノデスガ、五年ニナッテモ差

支ナイト政府デ認メラレテ同意セラレタノ

デアリマセウガ、成ルベク早く組織ノ變更

ヲサセテ置イテ、サウシテ此救済ノ方法ヲ

圓滑ニサセル、斯ノ如ク完全ナ救済方法ノ

出來ルヤウニシタラ如何カト思フノデアリ

マス、此二點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ中央金庫

ノ損失一億圓貸付ニ三千万圓マデノ補償デ

中央金庫ノ將來不安ガアルノデヤナイカト

云フ御質問ノヤウニ伺ッテ居リマスデスガ、

今マデノ色ミノ貸付ノ結果ヲ見マシテモ、

亦一方不動産貸ノ方法、固定貸ノ流動化ノ

關係ヲ見マシテ、此方ハ先ツ三分ノ一位見

テ置ケバ後ハ十分償還出來ルモノデハナカ

ラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ實ハ

中央金庫ノ農村ノ産業組合貸付ハ中央金庫

始マッテ以來損失ハ殆ドナイノデアリマス、

從來ノ産業組合中央金庫ガ出來ル前ノ、日

本勸業銀行ニ於テ農村ノ産業組合ニ貸付ノ

成績ヲ見マシテモ、最後マデ行ッテ損失ヲ

起シタト云フモノハ甚ダ少ナイノデゴザイ

マス、産業組合ノ方ハチヨット考ヘマスト
云フト、無擔保貸付デアリマスカラ損失ガ
起キルヤウデアリマスガ、其割ニ組合ノ全
員ガ責任ヲ負ヒマスレバ損失ハ起キナイノ
デアリマシテ、從テ借リタ者ノ大部分ガ
……中央金庫ノ貸シタモノノ大部分ガ、中
央金庫ノ損失ニナルトハ考ヘラレナイノデ
アリマシテ、約一億圓ノ三分ノ一ダケヲ補
償スレバ十分デアルヤウニ考ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレデ不動産貸付ノ方ハ其損失
ノ補償ノ割合ガ之ヨリモ少イノデアリマス
ガ、向フノ方ハ不動産デアリマスカラ其數
ガ少ナイト見テ居ルノデアリマスガ、割合
カラ言ヘバ中央金庫ニ對スル損失補償ノ方
ノ割合ガ多イノデアリマス、併シ三分ノ一
マデ見レバ先ヅ十分デアルヤウニ考ヘタノ
デアリマス、ソレカラシテ補償責任ニ變ヘ
ル期限ヲ五年ニ修正サレマシタノデアリマ
スガ、是ハ元々三年デアアル、農林省デハ極
力指導獎勵ヲシマシテ、監督ヲシマシテ、
補償責任ニ三年間ニハ事實上變ヘテシマ
シテ、サウシテ後ハ殘ルモノガナイヤウニシ
タイト云フノデ、特別ニ今度ノ臨時議會ニ
此爲ノ指導獎勵費ヲ取りマシテ、一箇年間
デ十四五萬圓ニナリマスガ、特ニ此爲ノ經
費ヲ取りマシテ、三年間ニハ殆ド洩レナク

補償責任ノ指導ニ依テ變ヘサセヤウト云
フコトニ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、或
モノハ、少シノ部分ノモノハ三年以上ニモ
跨ガルカト思ヒマスガ、指導獎勵ノ方針ハ
先ヅ三年間デ徹底的ニ變更サセルヤウニ致
シタイト考ヘテ居リマスカラ、五年マデ殘
ルモノハ甚ダ少ナイモノニナルガラウト思
フノデアリマス、大體ニ於テ三年位デ皆變
ヘルコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、幸ヒ
産業組合ノ當業者ガ此六月頃ニ東京ヘ集リ
マシテ、各府縣カラ主ナル産業組合ノ代表
者ガ集リマシテ三會堂大會ヲ開キマシテ、
此際農村不況ノ對策トシテ産業組合デ執ル
ベキモノハ先ヅ第一有限責任ヲ止メテ保證
責任以上ノモノニスルト云フコトヲ決議
シテ、其履行ヲ必ズシヤウト云フコトヲ
誓テ、此大會ガ濟シタ譯デアリマシテ、ソ
レニ此際農林省ガ特別ニ經費ヲ以テ督勵シ
タナラバ衆議院デ修正サレマシタ五年迄行
カナケレバナラヌト云フノハ甚ダ少イヤウ
ニ考ヘテ居リマスカラ、大體ニ於テ之デ目
的ハ達セラレルヤウニ考ヘテ居リマス、唯
萬一、三年ニ出來ナイモノハ、産業組合ガ
經營出來ナイヤウデハ困ルカラト云フ心配
モアルヤウデアリマシテ、此邊ニシタノデ
アリマス、大部分ノ組合ハ三年間デ事實上

變ヘテ來ルト云フコトニ考ヘテ居リマスカ
ラ、別ニ趣旨ニ於テハ支障ナキモノト見テ
同意シタ譯デアリマス

○侯爵大久保利武君 サウシマス今ノ三
年ガ五年ニナッタノハ、是ハ少シ立入ッテ御

尋ネデアリマスガ、衆議院ノ方デ此議ガ出
タノデ、別ニ産業組合當業者ノ方デサウ云
フ運動デモシタ譯デヤナク、衆議院ニ於テ
其議ガ出タノデセウカ

○政府委員(小平權一君) 衆議院ニ於テ出
タノデゴザイマス、衆議院ノ或ル實際自分

ノ村ノ産業組合ヲ經營シテ居ル方ガ偶、衆
議院ノ此法律ノ委員ニナリマシタ關係デ、
ソレデ極ク狭イ自分ノ村ダケノコトカラ判
斷シマシテ、或ハ三年デハ全部變ヘ切レナ
イ點ガアルカラ、尙ホ念ノ爲ニ五年ニシタ
ラ宜カラウト云フヤウナ御意見デアッタノ
デス

○委員長(子爵前田利定君) 産業組合法中
改正法律案ニ付テ御質疑ガゴザイマセヌケ
レバ、産業組合中央金庫法中改正法律案ニ
付キマシテ御質問ゴザイマスレバ此際願ヒ
タイト思ヒマス

○西野元君 産業組合法ノ方ニハ御這入り
ニナラヌト思ッテ質問ヲ差控ヘテ居ッタノデ
アリマスガ……

○委員長(子爵前田利定君) ドチラデモ宜
シウゴザイマス

○西野元君 九條第一項第五號ノ次ニ左ノ
一號ヲ加フト云フ改正ガアリマスガ……

○委員長(子爵前田利定君) 何處デゴザイ
マスカ

○西野元君 此産業組合改正法律案ノ第九
條第一項ノ改正デス、第五號ノ次ニ左ノ一
號ヲ加フト云フノデ、五號ノ二ト云フノガ
加ハッテ居ルノデアリマスガ、是ハ從來モ
保證責任組合ト云フモノモアッタヤウニ存
ジマスガ、其保證金額ニ關スル規定ト云フ
モノハ書イテナイノデアリマセウカ、チヨ
ト能ク現行法ヲ存ジマセヌカラ御伺ヒ致シ
マス

○政府委員(小平權一君) 産業組合法デ從
來保證責任ノ規定ガゴザイマシタノデアリ
マスガ、定款ノ規定事項ニ保證金額ヲ書カ
ナイデモ宜イコトニナッテ居リマス、是ハ從
來農林省デモ非常ニ困リマシテ、事實ハ模
範定款デ指導ニ依テ定款ニ書カセルコト
ニシテ居リマスガ、法律事項デゴザイマセ
ヌデ登記ニ現ハレテ來マセヌカラ、ソレデ
是ハ司法省ニ於キマシテ是非此際保證責任
ト云フモノヲ、保證金額ヲ定款ニ書クコト
ヲ法律事項ニシマシテ、登記ヲ明確ニシタ

イト云フ是ハ法律ノ不備ヲ訂正シタダケデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○西野元君 サウ致シマス、現在實例ト致シマシテ、マア定款ニハ書キマセヌデモ、實際問題トシテハ保證責任組合ニ依ッテ保證金額ノ限度ハ無論定マッテ居、タト思フノデアリマスガ、現在ノ實例ハドノ位ノ程度ノモノガアッタノデアリマスガ、又將來農林省トシテノ御方針デハ實際ニ今回保證責任ヲ御獎勵ニナルト云フ以上ハ、ドノ程度ノモノヲ以テ適當ナリト御認メニナルノデアリマスガ、其邊ノ御考ヲチョット伺ッテ置キタイノデアリマス

○政府委員(小平權一君) 保證金額ノ限度ニ關スル御尋ノヤウニ伺ッタノデアリマスガ、是ハ施行規則トシテ從來決メテ居リマス、施行規則ニ於キマシテハ保證金額ハ出資金額ト同額以上ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、少クモ出資金額、最少限度ノ出資金額ダケハ保證シテ貰ハナケレバ困ル、出資金額以上ニ保證金額ヲ決メルヤウニ施行規則決メテ居ル次第デアリマス、從來モサウ致シテ居リマス、今後モサウ致シタイト考ヘテ居リマス次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○西野元君 尙ホ一ツ念ノ爲ニ伺ッテ置キ

タイト思フノハ、先刻恐ラク大久保侯爵ノ御質問モ此處ニ及ンデ居、タラウト思ヒマスガ、先刻ノ御尋ハ衆議院デ修正ニナリマシタ三箇年ヲ五箇年ト改メルト云フ附則ノ規定ニ付テノ御話デア、タカト存ズルノデアリマスガ、此修正ハ政府ニ於テモ妥當ナリト御認メニナリマシテ御異議ガナイコトデゴザイマセウカ

○政府委員(小平權一君) 三年ヲ五年ニ修正イタサレマシタノハ、政府ニ於テモ同意イタシテ居ル次第デゴザイマス、是ハ事實ハ農林省デハ三年間ニ指導獎勵デ全部返サシタイト云フノデアリマスガ、偶、萬已ムヲ得ズ三年以上ニ延ビルモノモ僅ナガラアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ三箇年間ニ指導獎勵デ直サシテシマウコトニ考ヘテ居リマスカラ、別ニ支障ナイト云フノデ同意イタシタ次第デアリマス

○侯爵大久保利武君 産業組合法中改正案ノ第十條ノ三デアリマス、農事實行組合ノコトニ付テチョット御尋イタシタイと思ヒマスガ、政府委員ノ御説明デハ農事實行組合ハ簡單ナ法人ニ之ヲ改メルト云フ、法人トスルト云フコトニ承、タノデアリマスガ、簡單ナ法人ト云フトチョットドウ云フ風ニ承、タラ宜イノデセウカ、簡單ナ法人ト云

フコトハ……其コト、ソレカラ今度法人トシテ産業組合ニ加入ノ出來ル組合ヲ十條ノ三デハ農事實行組合ト云フコトニナ、テ居リマスガ、是ハ地方デハ種々ノ名前デ此農事實行組合ガ出來テ居ル、澤山名稱ガ異、タモノガアルノデスガ、是ハ農事實行組合ト云フノハ、サウ云フ組合ハ、總テ農事實行組合ト云フ組合ニ變ヘサシタルト云フコトニナ、テ居、テ、其實質ガ農事實行組合デアルモノハ、總テ農事實行組合ト看做シテ組合ニ加入ヲ許ス、農事實行組合及ビ蠶絲業組合、第十條ノ四ニアリマス、斯ウ云フモノガ、今度法人トシテ除外スルガ、組合員トシテハ加入ヲ許スコトニナリマスガ、農村實行組合ト云フノハ名稱ハ是ハ府縣、地方ニ依、テ色々名稱ガ變、テ居ルガ、此實質ガ農事實行組合デアレバ皆之ニ入ルノデスカ其點ヲ一ツ……

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ簡單ナ法人ト云フコトニ付テノ御疑問デアリマスガ、御尤デゴザイマシテ、簡單ナ法人ト云フコトダケデハ甚ダ御分リニナラヌコトと思フノデアリマスガ、是ハ簡單ナ法人ト申シマシテモ矢張り法人ニナルノデアリマスカラ、七人以上デ農事實行組合ヲ組織シマシテ、定款ヲ作成シテ代表者ヲ造リマシテ、

サウシテ登記ヲスルコトニナ、テ居ルノデアリマス、唯此農事實行組合ヲ法人ニスル場合ニ於キマシテハ別ニ行政官廳ノ認可ハナイノデゴザイマス、認可ガナクテ七人以上デ規約ヲ作成シテソレヲ行政官廳ニ届出テ、サウシテ一方ニ於テハソレヲ登記所デ登記スルト云フコトニ依、テ農事實行組合ガ法人ニナルノデアリマス、其行政官廳ノ認可ノナイ點デアリマス、ソレカラシテ登記ガ至、テ簡單ニ出來テ居リマス、農業者ニ細カイ登記手續ハ無理デアルト云フノデ出來ルダケ登記ノ事項モ、手續モ簡單ニシマシタノデ、其點ヲ以テ簡單ナ法人、斯ウ云フ工合ニ申上ゲテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ農事實行組合ノ内容ヲ備ヘタモノハ皆産業組合ニ入ルカドウカト云フコトデゴザイマスガ、併シ是ハ十條ノ三ニアリマス通りニ一定ノ地區内ノ農業者ヲ以テ之ヲ組織シテ、組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ル目的デ出來テ居ル農事實行組合デ、ソレガ法人ニナリマシテ登記ヲシテ行政官廳ニ届出タモノデナケレバ産業組合ニハ加入出來ナイノデゴザイマス、サウ云フ手續ヲシナイモノハ相變ラズ從來通り色々ナ形デ、又色々ナ名稱デ農村ニハ存在シ得ルノデゴザイマス、唯産業組合ニ入、テ、産業組合カラ資

金ヲ借入レルトカ、肥料ノ配給ヲ受ケマス
トカ、サウ云フ場合ニハ法人トナッテ入ラ
ナケレバナライ、ト云フコトニナルノデ
ゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○侯爵大久保利武君 尙此後段ノ御説明ニ
付テ申上ゲマスガ、例ヲ以テ申上ゲマス
云フト、九州ノ農事小組合、極ク小人數デ農
事改良ノ組合ガ出來テ居ル、小組合ト其地
方デ申シマス、サウシマスト小組合ガ今度
七人以上共同シテ、サウシテ手續ヲシテ認
可ハ簡單ナ手續デ以テ法人ニナレバ、矢張
リ小組合デモ農事組合デモ宜イノデアリマ
スカ

○政府委員(小平權一君) 左様デゴザイマ
ス、小組合デモ……從來農家組合トカ、小
組合トカ、實行組合トカ、或ル場合ニハ昔
ノ五人組ト云フヤウナ名前ヲ使ッテ居ル、
ソシテモノモゴザイマス、是モ皆簡單ナ
法人ニナリマスレバ皆産業組合ニ入リマ
シテ利用スルコトガ出來ルコトニナリマ
ス

○西野元君 只今ノ大久保侯爵ノ御質問ニ
關聯シテ私モ伺ヒタイノデアリマス、甚ダ
現行法ヲ能ク存ジマセヌデ、意味ナイ質問
カモ知レマセヌガ、農事實行組合ト云フモノ
ノ根據法ハ、此改正産業組合法ソレ自身ナノ

デスカ、外ニ何カ斯ウ云フ規定ガアリマス
ノデスカ、其第十條ノ三、及ビ第十條ノ四
ニ依ッテ其性質ガ規定サレルコトニナルノ
デアリマスガ、外ニ別ニ規定ガアリマスガ

○政府委員(小平權一君) 農事實行組合ニ
關スル其目的組織ノ大要ニ付テハ十條ノ七
マデニ規定シテアリマス、併シ農事實行組合
ノ大體ノ制度ハ、養蠶實行組合ト云フモノ
ハ既ニ昨年ノ議會デアリマシタカ通過シテ
居リマシテ、是ハ蠶絲業組合法ト云フ中ニ特
ニ養蠶實行組合ト云フ章ヲ設ケマシテ、養
蠶實行組合ト云フノガ既ニ法律上認メラレ
タノデアリマス、ソレヲ準用シマシテ、サ
ウシテ農事實行組合ニ關スル規定ノ中ノ細
カイ規定ハ全部養蠶實行組合ニ關スル規定
ヲ準用シテ來タノデアリマス、ソレニ依ッテ
實行組合ガ此規定ニ依ッテ自カラ相俟ッテ法
人トシテ一ツノ制度ニナル譯デゴザイマ
ス、養蠶實行組合ニ關スル規定ハ大部分ハ
民法ノ規定ヲ準用シテ居リマス、唯民法ノ
規定ト違ッテ其法人ノ設立ニ、行政官廳ノ
許可ヲ要セナイ、其他簡單ニ登記出來ルヤ
ウニ致シマシテ、後トハ大部分民法ノ法人
ノ規定ヲ適用シテ居ルノデアリマス、左様
御承知ヲ願ヒマス

○菅澤重雄君 第十條ノ五ト云フノ終ヒ
ノ方ニ「法人ガ産業組合ニ對シ負擔スル一
切ノ債務ニ付連帶無限責任ヲ負擔ス」斯ウ
云フコトガアリマスノハ農事實行組合ナ
リ、養蠶組合ガ産業組合ニ入ッタ場合、加
盟シタ場合ニ其債務ニ對シテ無限責任ト云
フコトノ負擔ヲ受ケルト云フコトニナリマ
スガ、斯ウ云フ無限連帶責任ヲ帶ビルト云
フヤウナコトニナルト云フト、詰リハ會員
ニドウ云フ觀念ヲ與ヘルカ、安ンジテ産業
組合ニ入ルト云フヤウナコトニナリマスガ
ドウカ、連帶無限責任ト云フコトニナルト却
テ躊躇スルヤウナ傾キガアリハシナイカ、
又モウ一ツハ養蠶實行組合ノ各町村ノ實際
ヲ見マス、近頃政府ノ何カ訓令カ省令カ
ニ依ッテヤッテ居ル實行組合ト云フノハ、本
當ニ組合ハ出來テ居ルケレドモ、養蠶實行
組合ト云フモノノ政府ノ省令ノ規定ニ基イ
テヤッテ居ル所ハ極ク少數ノヤウニ私ハ考
ヘテ居ル、地方デハ五分ノ一若クハ六分ノ
一位シカナッテ居ラヌヤウナ……政府ノ命
令ニ據ラナイ養蠶組合ト云フモノガ未ダ存
續シテ居ル、ソレ等ヲ統一シテ今度組合ニ
入レルト云フ趣旨ダラウト思ヒマスルガ、
連帶無限責任ト云フヤウナコトニナルト、
尙更組合員ニ加盟スルト云フコトニ躊躇ス
ルコトニナリハセヌカ、此點ニ付テ一ツ政

府ノ所見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(小平權一君) 其點ハ御尋ノヤ
ウナ議論モアルヤウデスガ、是ハ色々産業
組合ニ團體加入ヲ認メルコトニ付キマシテ
ハ色々ノ方法ヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス
ガ、日本ノ法制上團體ト云フモノヲマダ法
律上認メラレテ居ラナイノデアリマス、從ッ
テ團體ガ加入出來ナイノデアリマス、若シ
團體トシテ加入出來レバ斯ナ規定ヲ待タ
ズニ行クコトニナルノデゴザイマス、御承知
ノ通り民法ノ規定ニ依リマスレバ御互ニ任
意ノ組合ヲ作ッテ多少ナリ財産上ノ出資ヲ
スレバ民法上ノ組合ニナリマシテ、ソレハ
矢張り無限責任ニナッテ居ル團體其モノニ
入レバ、當然是ハ御互ニ責任ヲ負ハネバナ
ラスノデゴザイマスガ、偶、法人ニナッタ爲
ニ、法人ニシナケレバ産業組合ハ入レテ法
制ヲ立テルコトガ出來ナイト云フ日本ノ現
在ノ法制上已ムヲ得ズ法人ニシタ譯デゴザ
イマス、ソコデ法人ニナッテシマウト云フ
ト、若シ組合員ガ連帶責任ヲ負ハヌコトニ
ナルト云フト此法人ハ極ク簡單ナ法人デ設
立モ解散モ全ク認可ガナイノデゴザイマ
ス、自由デゴザイマスカラ産業組合ハ入ッ
テ相當ノ金ヲ實行組合ガ借りテ直チニ解散モ
出來ルノデゴザイマス、サウシマスと云フ

ト産業組合トシテハ入ルニハ簡單ニ入レマ
スケレドモ、組合員デ必要トスルヤウナ資
金ノ供給デアリマス。トカ、實行組合デ實行
組合ノ中カラ肥料ノ供給デアリマス。トカ云
フコトガ滑カニ出來ナイノデゴザイマス、
或ハ多少入ル時ニハ勿論實行組合ノ御相談
ニ依ッテ入ルノデゴザイマスガ、相當考ヘサ
セラレノデアリマスガ、ヨク事柄ヲ分ケ
テ考ヘマス。ト云フト、入ッタ以上ハ矢張り責
任ヲ負ヒマセスト云フ却テ實行組合ガ簡單
ナル法人デ組合員ハモウ法人ノ財産以外ニ
責任ヲ負ハナイト云フト入ッテモ何ニモナ
ラナイ、入ッタ以上ハ矢張り連帶責任ヲ負フ
ト云フコトニ致シマシテサウシテ此簡單ナ
實行組合、簡易法人ノ必要トスル資金ナリ、
必要トスル産業用品ナリ、凡テノモノガ滑
カニ融通出來ルヤウニ致シタイト云フ考ヘ
デ斯ウ云フ規定ヲ置イタ譯デゴザイマス、
現在ノ實行組合ト云フモノガ最後ノ裁判ニ
ナレバ矢張り是ハ民法上デ連帶責任ニナル
ノデアリマス、同業者ハ知ラナイデ、別ニ
何等法律ニ據ラナイデ實行組合小組合ト云
フモノヲ作ッテ居リマス。スケレドモ、ソコデ小
組合デ金ヲ借りレバ是ガ裁判ニナレバ或ハ
無限連帶責任ノ民法ノ規定ニ依リ強制セラ
ルノデアリマス、事實ニ於テハ實際ハサ

ウ差支ヘハナイノデゴザイマス。カラ、産業
組合ニ入ッタ以上ハ法人トシテ金ヲ借りル
ノデアリマス。スケレドモ、解散ガ自由デアリ
マス。カラ、ソレヲ借りタ以上ハ組合員ガ責
任ヲ負フコトニシテ貰ハナイト困ル、個々
ノ組合員ガ入ル場合ニハ同ジヤウニ責任ヲ
負フノデ、ソレデ斯ナ規定ヲ立テタノデ
アリマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○菅澤重雄君 能ク分リマシタ、今度産業
組合ノ決算事業報告ヲ六ヶ月ニスルト云フ
改正ノ趣旨ノヤウデスネ
○政府委員(小平權一君) 左様デゴザイマ
ス
○菅澤重雄君 ソレハ産業組合トシテハ小
サナ組合ガ決算報告ヲスルト云フコトハ非
常ナ手數ナ問題デアッテ大分日子ヲ要スル、
デ組合員ガ相當惱マサレルノデスガ、大キ
ナ資金ヲ運轉シテ事務員ヤ書記ノヤウナモ
ノヲ十分雇ッテ速ニサウ云フコトノ出來ル
ヤウナ組織ナラ宜シイガ、今ノ信用組合ナ
ルモノハ全ク地方ノ有力者ガ奉仕的ニ給料
モ何モ取ラナイデ役員ヲヤッテ居ッテ、サウ
シテヤルノデアアルカラ、其點ニ付テハ私ハ
六箇月ト云フコトデ此事業報告ヲスルノハ
ナカノドノ組合デモ非常ナ困難ナ問題ダ
ト思ヒマスガ、從來ノ通り一箇年ニ之ヲシ

テ置クト云フコトハ政府ニ於テ甚ダシク不
都合ナリト認メルノカ、其點ニ付テドウ云
フ弊害ガアルカ、ソレヲ一ツ承ハリタイ
○政府委員(小平權一君) 此規定ヲ簡單ニ
御覽ニナレバ或ハサウ云フ御心配ノ出ルノ
モ無理デハナイカト思フノデアリマスガ、
是ハ趣旨ヲ説明申上ゲマスレバ、能ク御分
リニナルカト思フノデアリマス、定款デ決
メテ六箇月トスルコトガ出來ルト云フダケ
デアリマシテ、農林省ノ方デハ此六箇月ト
シタイト云フノハ是ハ主トシテ市街地ノ組
合ノ多年ノ要望ニ依ッテ此規定ヲ挿入シタ
譯デアリマシテ、農村ノ組合デハ勿論六箇
月ニサセルモノデハゴザイマセヌ、又假ニ
六箇月ニ變更シテ來テモ、農村ノ組合デハ
サウ云フ定款ハ行政官廳デ認可サセナイ積
リデゴザイマス、主トシテ消費組合デハ、
市街地ノ消費組合ト云フ此組合ハ生計用品
ノ購買ヲ行フ組合デアリマシテ、主トシテ
需要ノ分量ニ依テ剩餘金ヲ配當スルノデゴ
ザイマス、組合員ノ異動ガ非常ニ多イガ爲
ニ半期毎ニ決算ヲ出シテ、需要ノ分量ニ依
テ割戻シヲセスト云フト、消費組合ガ配給
シマシテモ、割戻シガアルガ爲ニ一般ノ小
賣商ヨリ買フヨリ安く買ヘルト云フノデア
リマス、其割戻ガ一年ニ一回デハ組合員ノ

異動ガ多クテ非常ニ困ルト云フ苦情ガアリ
マシタノデ、ソレデ市街ノ組合ダケニ限ル
コトニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカ
ラ一方又大キナ全國購買組合聯合會デアリ
マス。トカ、大日本生絲販賣組合聯合會デア
リマス。トカ、全國ヲ區域トスルサウ云フ大
キナ組合ニナリマス。ト云フト、是ハ普通ノ
會社ト同ジヤウニ年々二回組合ハ決算ヲシ
テ組合員ニ報告イタシマセスト、甚ダ大キ
ナ事業デアリマス。カラ、一年ニ一回デハ組
合員ガ總會ニ於テ苦情ヲ言ヒマシテモ、既
ニ年度ガ盡キテ居リマシテ取ッテ返シノ付
カナイコトニナリマス。カラ、ソレデ一年ニ二
回ハ總會ヲ開カセテ、前半期ノ事業ニ付テ
總會ニ説明ヲサセテ、大キナ全國聯合會等
ニハ理事者ニ相當ノ意見ヲ申サセマシテ、
後半期ノ需要供給ニ付キ組合員ノ意見ヲ綜
合シテ運用スルヤウニサセタイト云フ風ナ
コトカラ六ヶ月ニ爲シ得ルト云フコトニ規
定ヲ改正シタ譯デアリマス、小サナ組合デ
アリマス。トカ、農村ノ組合等ニハ毛頭六箇
月ニヤラセル意思ハ持ッテ居ラナイノデア
リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス
○西野元君 第七十六條ノ三ノ改正ノ趣旨
ヲ簡單ニ伺ヒタイ
○政府委員(小平權一君) 此規定ハ是ダケ

デハ甚ダ御分リニクイト思フノデゴザイマス、從來此ノ産業組合ノ聯合會ハ、同種ノ組合ダケデナケレバ出來ナイヤウニ甚ダ窮屈ニ規定サレテ居リマス、購買組合ト申シマシテ産業要品ヲ購入シテ來テ組合員ニ賣ルト云フ、サウ云フ購買組合ノ聯合會ハ購買組合ダケデナケレバ出來ナイコトニナッテ居リマス、所ガ近頃組合製絲デアリマストカ、サウ云フ販賣組合デアリマシテモ、石炭デアリマストカ色ミナ産業用品ノ購入ガ必要ニナッテ來タノデアリマス、然ルニ組合製絲ハ繭ノ販賣組合デ養蠶業者ノ作タ繭ノ加工販賣ヲスルト云フガ組合製絲デアリマス、其加工ノ主ナル經費ハ石炭デアリマス、其石炭ガ購買組合聯合會ノ方デハ安イ石炭ヲ賣テ居ルノニ、購買組合聯合會ノ販賣シテ居ル石炭ヲ買フコトガ出來ナイ、同ジ産業組合系統デアリマシテモ、見ス隣リノ組合ガ石炭ヲ賣テ居ルノニ同ジ組合同志デ購入ガ出來ナイト云フノデハ甚ダ困ルト云フノデ、其點モ何遍カ全國産業組合大會デ決議サレテ農林省ニ度々改正ヲ叫バレテ居リマス、農林省デハ組合法改正ノ機會ガアリマセヌカラ、延バシノシテ居リマシタガ、今回此機會ニ之ヲ改正シマシテ、購買組合聯合會ニハ販賣組合等モ入り

得ルト云フコトニシテ、購買組合聯合會デ賣却スルモノハ、組合關係ナラバ融通シテモ宜カラウト云フコトニ致シタイト云フニ過ギナイノデアリマス

○西野元君 サウ致シマスト、此改正ノ結果ハドウ云フ文言ニナルノデセウカ

○政府委員(小平權一君) 購買組合聯合會ハ同種ノ事業ヲ行ハザルト云フ其規定ガナクナルノデゴザイマシテ、購買組合聯合會ハ販賣組合又ハ販賣組合聯合會、購買組合、購買組合聯合會ヲ以テ組織スルコトガ出來ルト云フコトニナル譯デゴザイマス、ソレデ此七十六條ノ第二項カラシテ購買組合聯合會ノ規定ガナクナルノデゴザイマスカラ、此七十六條二項ノ制限ガナクナリマシテ、制限ト云フノハ購買組合聯合會ハ同種事業ヲ行ハザル産業組合又ハ産業組合聯合會デ以テ之ヲ構成スルコトヲ得ズト云フ規定ガ削除サレマシテ、從テ購買組合聯合會ハ同種ノ事業ヲ行ハザル産業組合又ハ産業組合聯合會ヲ以テ之ヲ構成スルコトヲ得ルト云フコトニナル譯デアリマス、得ルコトニナレバ此制限ガ要ラヌコトニナルカラ、制限カラ除クコトニ致シタノデアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 三案ヲ通ジマシテドコデモ御質疑ノアル方ハ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス……チヨット御尋ネ致シマスガ、今産業組合法中改正法律案ノ組合ニ付テノ決算ヲ年二回ニスルト云フ理由ハ承ハリマシタガ、中央金庫ノ方モサウ云フコトニナルヤウデスナ

○政府委員(小平權一君) 左様デアリマス、中央金庫ノ方ハ、是ハ非常ニ大キナ金融機關デゴザイマスカラ、殆ド一年ニ一億以上ノ金ヲ扱フノデゴザイマスカラ、是ガ一年ニ一回ノ決算デハ非常ニ困ルノデアリマス、普通ノ銀行等ニ比ベマスレバ、普通ノ百万圓位ノ資本ノ銀行デモ皆年ニ二回ノ決算ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ千万圓ノ資本ヲ以テ一億以上ノ取引ヲスル金融機關デ、年ニ一回ノ決算デハ之ヲ組織シテ居ル一万二千ノ組合員ノ意見ヲ容レル點カラ見マシテモ、亦行政官廳ガ監督ヲスル點カラ見マシテモ、一年ニ一回ノ決算ヲ經タダケデハ、ドウシテモ周到ナ監視ガ出來ナイノデゴザイマシテ、是ハ中央金庫ノ當事者トシテハ甚ダ御迷惑ノコトノヤウニ考ヘラレマスガ、之ヲ組織シテ居ル組合及ビ事業ノ性質及分量カラ言ヒマシテモ、ドウシテモ年ニ二回決算ヲナシ、總會ヲ年ニ二回ヤレト云フコトニ致シマセスト云フト、餘リニ大キナ金融機關デアリマスカラ、更ニ是

カラ色ミナ資金ヲ扱ッテ、中央金庫ノ取扱フ分量ガ年々増加スル一方デアリマスカラ、普通ノ金融機關ト同ジヤウニ年ニ二回決算ヲサセタイト云フ次第デゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○侯爵大久保利武君 今日ハ此位デ御止メニナッテハ如何デスカ、

○委員長(子爵前田利定君) 如何デセウカ、會期モ切迫シテ居リマスカラシテ、若シ御考慮ノ御準備ガ御アリニナルナラバ、此際討議決議ニ入りタイト思ヒマスケレドモ、尙ホ併シ御熟考ヲ遊バスト云フ御必要ガゴザイマスケレバ、ソレハ又……併シ相成ルベクハ片付クモノナラバ、片付ケタイト思ヒマスガ、併シ皆サンノ御意向ニ依リマシテハ如何様ニモ……如何デゴザイマセウカ、御相談イタシマスガ、格別ノ御異議ガゴザイマセヌケレバ、時日モ切迫シテ居ルコトデゴザイマスカラ、是カラ討議ニ入りタイト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモノト認メマシテ討論ニ移リマス、討論ノ順序ト致シマシテ便宜上先ヅ産業組合中央金庫特別融通及損失補償法案ニ關スル方カラ議題ニ供シマス、先ヅ之ヲ議題ニ供シマ

ス、御意見ガゴザイマスルナラバ、此際御意見ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松本勝太郎君 本案ハ希望條件ヲ附シテ原案ニ賛成シタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) チョット念ノ爲ニ御確メ致シマスガ、只今議題ニ掛ッテ居リマス損失補償法案ニ付テゴザイマス

○松本勝太郎君 左様デゴザイマス

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイマス

○松本勝太郎君 只今申シタダケデ本案ハ賛成デス

○委員長(子爵前田利定君) サウスルト、別ニ是デ希望ヲ御附ケニナラナイノデスカ

○松本勝太郎君 私ノ希望ハ郵便貯金ノ利率ノ引下ヲ實行イタシマシタ以上ハ其利率ニ從ッテ、成ベク努メテ低利ナモノニナサレタイト云フ希望ヲ附シマシテ本員ハ賛成イタシタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 他ニ御議論ガゴザイマセヌカ、

○委員長(子爵前田利定君) 産業組合中央金庫特別融通及ビ損失補償法案ハ可決ニ相成リマシタ、委員長ト致シマシテハ、一委

員ガ利率ノ成ベク低下セラレタイト云フ希望ヲ持ッテ居ラレタト云フコトヲ報告イタシマス

○子爵西尾忠方君 私ハ順序ト致シマシテ、本案ガ御決定ニナリマシタナラバ、ソレニ對シテ希望決議ヲ申上ゲタイト存ジテ居リマス

○委員長(子爵前田利定君) ソレハ此補償法案ニ對シテデスカ

○子爵西尾忠方君 サウデス

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイマス

○子爵西尾忠方君 ソレデハ私カラ大體其意味ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 法律案ハ可決ニナリマシタガ、更ニ希望ヲ附スルト云フコトデ……

○子爵西尾忠方君 大體此文章ヲ讀ミマスガ、適當ニ是ハ委員ノ間デ御修正ヲナサツテ宜シウゴザイマス

希望決議

本法案ノ目的ハ農村及ビ中小産者ノ疲弊ノ現狀ニ鑑ミ資金涸渴セル信用組合ニ資金ヲ供給シ以テ其活動ヲ促サムトスルニアルヲ以テ更正ノ見込ナキ組合ニ資金ヲ融通シ又ハ回收ノ見込ナキ不良貸付ノ整理ニ終ルカ

如キコトナキ様政府ハ嚴ニ當事者ノ指導監督ニ留意セラレムコトヲ望ム

斯ウ云フ希望決議ヲ付シテ、委員會ノ御賛同ヲ得マシテ委員長ヨリ本議場ニ御報告ヲ願ヒタイト存ジマス

○菅澤重雄君 只今ノ西尾君ノ附帶決議ノ動議ニ賛成イタシマス

○侯爵大久保利武君 賛成イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 皆サン御異議ゴザイマセヌカ

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 然ラバ第二ニ出マシタ附帶希望ハ此委員會ノ希望トシテ議場ニ報告スルコトニ致シマス、第二産業組合法中改正法律案ヲ議題ニ供シマス、之ニ付テ御意見ヲ願ヒマス、別段ニ御意見ゴザイマセヌカ……御意見ガナケレバ可決ト

相成リマシタ、第三産業組合中央金庫法中改正法律案、之ヲ討議ニ付シマス、御意見ガアレバ此際御發言ヲ願ヒマス、別段御意見見モナイヤウデゴザイマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイト認メマス、本案ハ可決サレマシタ、以上ヲ以テマシテ當委員會ニ委嘱サレマシタル三

案悉ク、全會一致ヲ以テ可決ニナリマシタ、是デ散會イタシマス

午後四時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵前田 利定君
副委員長 水野鍊太郎君
委員 公爵一條 實孝君
侯爵大久保利武君
子爵西尾 忠方君
男爵赤松 範一君
男爵足立 豐君
男爵伊江 朝助君
西野 元君
田村 新吉君
菅澤 重雄君
松本勝太郎君

政府委員

農林政務次官 伯爵有馬 賴寧君
農林省農務局長 小平 權一君